10月

くれよん 幼児組

気が付けば夕方には虫の声が大きく響き渡るようになり、昼夜の寒暖差からも秋の訪れを感じられるようになってきましたね。子どもはもちろん、大人も季節の変わり目は体調を崩しやすくなるころですので、園でも体調管理は気を付けていきたいと思っています。

来月には運動会もありますから、保護者の皆さんもお体にはお気を付けてください。

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…

日本では秋に対して色々な言葉が付いてきますね🍁

皆さんが好きな秋は何でしょうか？保育園では……なんと全部できちゃいます！

食欲の秋はもちろん給食で…だけでなく、年中さんはそろそろクッキングがスタートする頃になってきます。

クッキングでは苦手な食材が入る事もありますが、

それでも自分が洗ったり切ったりした食事には

「食べてみようかな…」なんて思いが勝る事も！

お泊り会のカレー作り

友だちと一緒に絵本を楽しむ

スポーツはもちろん運動会がありますし、読書ならお部屋で絵本を読む子も沢山います。(秋とか関係ないくらいですが!) 年長さんになればお昼寝時に児童文学の読み聞かせをしている日もあるので、絵本だけにはとどまりません。

今年も残暑が厳しくなるのか、過ごしやすくなるのかは分かりませんが、豊かな秋を豊かに過ごしていけたら嬉しいですね。

幼児期の終わりまでに育てたい10の姿”協同性”

今月は協同性についてです。そもそも協同性とは何でしょうか？
すごく簡単に言えば、「友だちと一緒に何かをする」という事です。例えば、”クッキングで友だちと料理を作る”というのとは分かりやすい協同性の一つになります。では、”友だちが積み木で何かを作っている横で、別々に同じものを作る”というのはどうでしょうか？……実はこれも協同性の一つになります。

友だちと”一つのものを作り上げる”というのが協同性。というのは間違いではないのですが、では始まりはどこにあるのか？という、その根っこは「友だちと同じものを作りたい、同じ遊びをしたい」という思いからとされています。つまり、”友だちが何かを作っている横で同じものを作る”という、いわゆる平行遊びと言われるものも協同性の一つとなります。

「お友だちと一緒に遊んでおらず、1人遊びばかりしていて心配」というお声を聞くこともありますが、そちらも心配いりません。むしろ、1人遊びをじっくり出来る子ほど、相手のイメージを受け取る力が伸びていきます。なぜなら、1人で遊んでいる時は特に「自分の世界を広げている時」です。自分の世界をじっくり広げることが出来るからこそ、自分の世界の中に相手の世界を受け入れ、一緒にイメージを膨らませていくことが出来るという根っこが産まれます。一人遊びも友だちとの遊びも沢山して、協同性が育っていったらと思っています。